巻頭カラー
待望のコミカライズ!!

5人の王

絵歩 原作 恵庭

かつてこの地には
オーアという名の
神がいた

神は
荒ぶる5匹の神獣を
人のかたちに変えて
国を治めるように命じた

国の名は
シェブロンといった

王の両手には
オーアの姿をかたどった
しるし――ティンクチャーがあり

王が死ぬと
すぐさま同じ色の
ティンクチャーを継いだ
新しい王が誕生する

大人気小説、待望のコミカライズ!!

人々は
5人の王を

ティンクチャーの色と
同じ名前で呼んだ

未来と過去が

交差する瞬間、

彼らは

ふたたび出会った——

★新連載
巻頭カラー36p

5人の王

EVERY MAN IS THE ARCHITECT OF HIS OWN FORTUNE

絵歩 EFO
原作 恵庭 ENIWA

原作小説
ダリアシリーズ「5人の王」全3巻
大好評発売中!

5人の王はシェブロンを
東方、西方、南方、北方
そして中央に分け

それぞれ
領土を治めた

中でも
中央を治める王は
パーディシャーと呼ばれ

ガタッ

ガタ・・

5人のうち
最も権力のある地位を
与えられていた

シェブロンには
黄金期と呼ばれる
一時代がある

それは
長い歴史の中で
唯一

「青の王」が
パーディシャーに
就任した時代である

めずらしいわね
男の子が
アジュール様に
召しあげられるなんて

そうねえ
ヴァート様なら
いざしらず…
あの方の
美少年狂いは
相当なものよ

あなたたち
おしゃべりも
たいがいになさい
申し訳ございません
ルリ様

ヒソク様
こちらへどうぞ
……ヒソク様？

は はい

カツ…
カツ…
……
カツ
カツ
カツ…
まもなく謁見室です
部屋に入ってもシャーのお許しがあるまで顔を上げてはなりませんよ
ああ あのシャーって誰でしょうか？
え？
すみません 俺……奴隷だったのでなにも知らなくて
キラ…
シャーとはお仕えする王の敬称です

この国は5人の王が治めておいでです

わたくしたちは青の王のアジュール様にお仕えしているので彼の方をシャーとお呼びしています

ヒソク様も同じようになさってください

王宮には他に3人の王がお住まいです

ギュールズ王は『赤の方』パーピュア王は『紫の方』セーブル王は『黒の方』

シャー以外の王にお会いすることがあればそうお呼びして下さいね

みんな色の名前がついているんですね

ええ

あの
もう一人の王は？
王宮には
いらっしゃらない
のですか？
緑の王のヴァート様は
王宮の外に
住まわれています
王都を通るとき
緑色の屋根を持つ宮殿が
ありませんでしたか？
あ……
見ました！
建物も塀も緑色で
キラキラしていました
それが
緑の宮殿です
どの宮殿も
王にちなむ色が
使われてるんですよ
ここは
青の宮殿なので
天井や床が
青いでしょう
以前は壁も青く
塗られていました
今は
白いのですね

……数年前に大きな改築があって白く塗り直されたのです
5人の王はそれぞれ王たる証をお持ちです
シャーにお会いしたら手の甲を……
ルリ様……！
あちらから緑の方が……！
！
そんな何故ここに……
ヒソク様が見つかるとまずいことになります

おい！
今なにを隠した
そ、それは…
答えぬか！
どうぞお許し下さい…
きゃっ！
ルリ様！
ドサッ
——下女が生意気な
わしを出し抜こうなんて浅はかだったな

ほう
エメラルドの目を持つ者か
肌の汚い子どもが持つには不相応な宝石だ
この緑の目がわしのものになりたいと言っておる
緑の方おやめください！
その者は白の女ではありません アジュール様が召し上げられた青の姫です
緑の方といえど他の王の所有物に手を出せば王宮の禁忌にふれます
青の姫だと？
この身体のどこに印がある？

羽のティンクチャーが無いうちは「白の女」と同じ扱いだ
わしが連れ帰ろうとアジュールも文句は言えまい
そんな……！
うるさい女だ
切れ
ルリ様!!
ああああああ
なっ！
浅黒い肌だな
たまには奴隷の子どもで遊ぶのも気晴らしになる

やめて下さい！
ドッ
俺はどうしても青の王と会わなくてはいけないのです！
ここから連れ去られたら困るんです
ヒソク様…
しぶとい下女だまだ生きているのか
うん？ヒソクといったか
どこかで聞いた名だな
西方に未来を視ることができる術師がいるという話だが
まさかおぬしが「星見のヒソク」か？

はは、ふはは
これはいい
どうりで女好きのアジュールが子どもを呼び寄せたわけだ
噂の星見を取りあげてやったら随分とあいつも悔しがるだろ――
ぐ、
かはっ

ビッ
緑の兵を押さえろ
抵抗するなら
殺してもかまわん
ワァァァ!
女相手でも
致命傷すら
負わせられないとは

さすが
緑の兵はぼんくらだ

緑の方がルリに無体をはたらいたからといって殺すことは許されません
フン
胸糞の悪いヴァートを殺れる機会をみすみす逃す気にはならなかっただけだ
ご冗談でしょう
この人が
青の王…？
冗談だ私もヴァートと心中する気はない
セーブルあたりに気づかれる前に手を打つ
——それで？

おまえは何者だ？
私が呼び寄せた ヒソクという星見は 女だ
ざわっ…
ヒソクは…… 俺の妹です
どうか 妹を召し上げることは やめてください

召し上げられた術師は側女のように扱われ
一生 王宮から出られないと聞き
妹が不憫で
このようなことをしでかしました

王をたばかってそんな願いが聞き入れられると思うなら
おまえは相当に愚かだ

俺の命でしたら覚悟しております
殺すなり奴隷にするなりお好きにして下さい
けれど妹はまだ10年しか生きておりません

親も無く楽しいことも知らずにいます

どうかヒソクにだけは慈悲をかけてください

すぐに投げだせる命で償えると思えるのなら

主人である私も随分と軽く見られたものだ

王が所有するものはすべて王が生殺与奪の権利を持っている

私は侍従を傷つけられて許したことはない

意味のない命でも妹以外のために投げ出そうなどとは思いません

俺の生きる意味がヒソクにあると思ったから

こうしてお願いにあがったのです

スッ…

命乞いにきた者が口答えとは驚く

その服門番に側女と間違えられたか

シアン

星見として迎え入れると伝えておかなかったのか

別の者に頼まれたのでは？
私は星見を迎え入れるのは青の宮殿に火種を呼び寄せるようなものだとシャーに申し上げたはずです
そうだったか？
——お前
妹のためならなんでもする覚悟があると言ったな
あります！
では今すぐ私の所有物になれ

……所有物

不服か？

死でも奴隷でもいいと言ったのはおまえだ

シャー 何をお考えなのですか

名案だと思わないか

ヴァートが青の王の所有物に手を出したとなればあいつを殺した口実になる

おまえの名は？

俺の名前…

二度と使うことは無いと思っていたのに

セージ
セージ
行かないで
外に出たら
悪いものに
食べられてしまう
ぐすっ
ぐすっ
俺たち兄妹は
西方の町で
奴隷として働いていた
ここにいよう…
うう…

家の主人には
少年趣味があり

ヒソクはよく
主人が来る前に
泣き出すことがあった

泣きじゃくる妹を
あやしながら

俺は今日も主人が
呼びに来ることを
知った

東の方で
怖いことが起きる
牛と蛇が戦ってるよ

ヒソクは不思議な
子どもだった

遠くの戦を
察知したり
疫病を予知できた

勘のいい子ども
という括りを
超えていた

しばらくして俺達は
街はずれの貧民窟に住む
ごろつきと出会った

術師の真似事をしていた
彼らは

ヒソクの才能に
目を付けたのだ

『星見』をうたって
働かせると

ヒソクはたちまち
評判になった

噂はやがて
王宮にまで届き

『星見のヒソク』を
召喚するという
連絡がきた

『星見』は
王や貴族に
重宝されるよ

ただし
召し上げられたら
最後

側女にされて
二度と自由には
なれないけどね

俺は
彼らに妹を連れて
逃げてくれるように頼み

ヒソクのふりをして
王宮へ行くことにした

時間を稼がなくては
ならなかったからだ

一緒に
逃げたところで

王宮の追手が来れば
すぐに追いつかれて
しまうだろう

ヒソク

お前を守るためならなんだってする――…

うまく逃げられているといいんだけれど…

子どものくせに
ずいぶんと
手慣れているな

息を
吸い込んでみろ

は、あ

アンバルは
初めてか？

動物の分泌液は
甘ったるくて
腰にくるだろう

じきにその高い自尊心を
かなぐり捨てて
すがりつくようになる

自尊心、なんて
ない、です

挑発にのってすぐ言い返すところがその証だ
はあ
あん
グッ
いい
気持ちいい…
ずいぶんとラクな道が残っていて良かったな
クッ
「死か 奴隷」と言ったか
ギリ…

ヴァートの言うことも
あながち間違いでは
なかったな

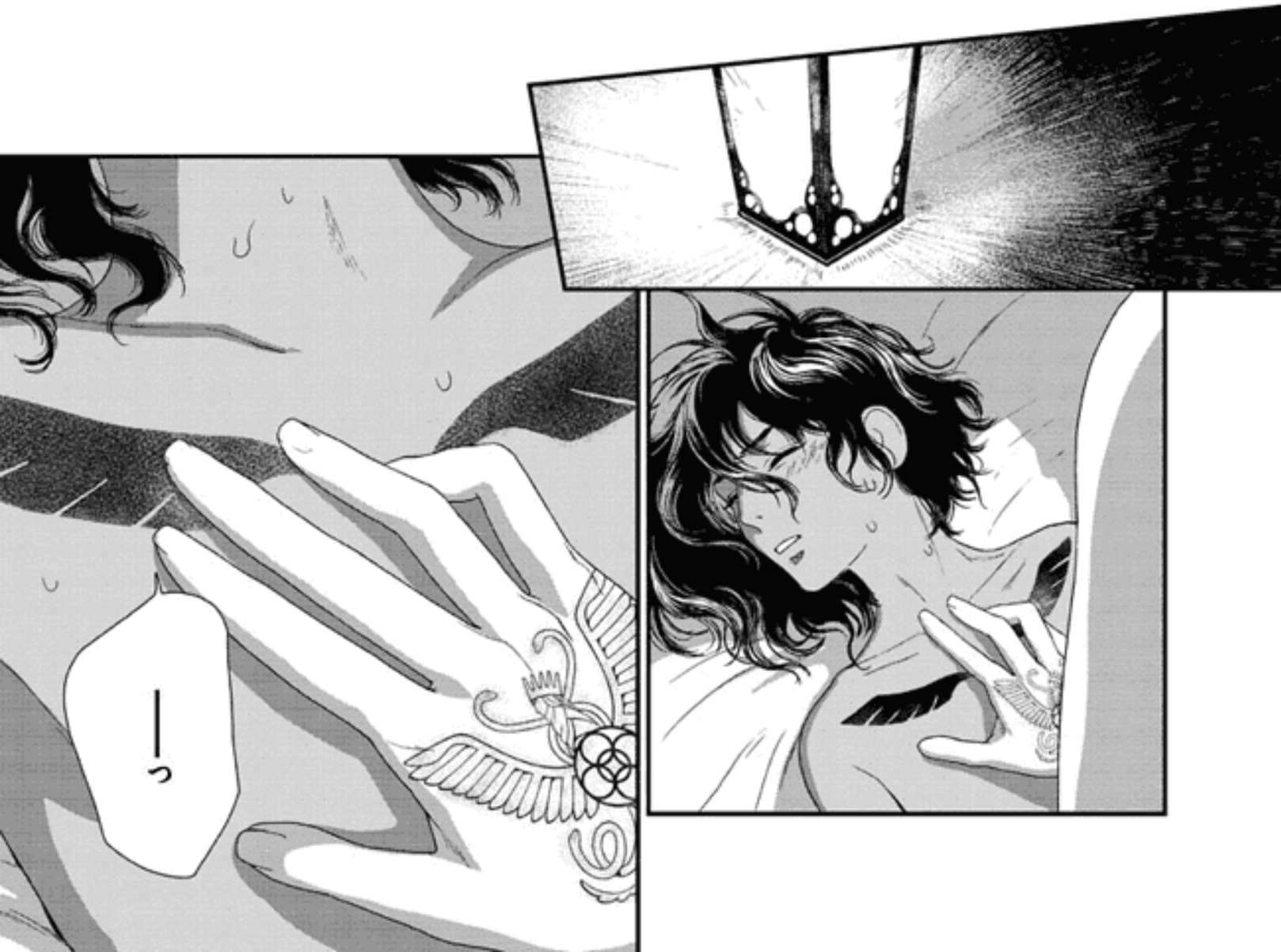
この緑に
上目づかいで見られるのは
悪くない

なんだ？

胸が焼けるように
熱い……

じっとしていろ

痛みを感じるのは一度目だけだ



羽のティンクチャーといって王の所有物になった証だ
他の王がこれに触れれば反逆とみなされる
抱いた直後はくっきりとしているがだんだんと薄れて四十日ほどで消える
ギリッ
しるしの消えた女は白の女といって誰に手をつけられてもかまわない存在になる
誰かれかまわず抱かれるのが嫌なら
青の術師としてそれらしく振る舞うことだな
術師……？
コト

おまえはこれから星見を名乗り
青の術師ヒソクとして生きろ

ヒソクが女だと知る者など王宮にはいない

俺が星見…?!

…俺には妹のような能力はありません
星見のふりをするなんて無理です

無理かどうかではなく妹の命にかけてやり通せ

でも…

妹を助けられれば死すら恐ろしくないと言ったな
その約束を果たすのがおまえの務めだ
やりとげれば妹は見逃していただけますか
そういうさかしい物言いは私の好みではない
覚えておけ私の機嫌を損ねて痛い思いをするのはおまえのほうだ

印が消える前に抱きに来る
そのつもりでいろ
…俺がヒソクになる…
これが一番良い方法なのか分からない
でも…
ぎゅっ
俺がお前を守るよヒソク
To Be Continued